



NPO PTPL “ともいき” 便り No.125

平成 29 年（2017 年）6 月 21 日発行

■夏至（げし） 6 月 21 日から 7 月 6 日までの節気

「夏至」の節気です。

「夏至」は、「なつにいたる」と書きます。

毎年、「夏至」の 6 月 21 日ごろは、一年で昼が一番長く、夜が短いとされています。

この時季は梅雨の本格的な時季ですが、今年はそれほどジメジメしたという感じがあまりしない日が続いています。予報では夏至の頃からは本格的な梅雨模様になりそうです。

色とりどりの紫陽花の花が咲き始めました。事務所の近くの日黒川沿いのテラスの横に小さな公園があります。そこに白いアジサイが咲いています。FB「ともいきぐらし」には掲載しましたが、理事長が調べたところ、日本名「カシワバアジサイ」というそうです。近年、日本に移入されて栽培されるようになり、八重咲きの園芸品種も同時に移入されたそうです。（北アメリカ東南部に自生するカシワバアジサイは葉が柏の木の葉に似ているのでカシワバアジサイと呼んだようです。）

さて、5月28日から6月11日まで、「全仏オープンテニス2017」がパリ郊外のローランギャロスで開催され、日本人の錦織圭がベスト8に入る活躍、さらに6月15日から6月18日まで、「全米オープンゴルフ2017」がアメリカ・ウィスコンシン州エリンヒルズで開催され、日本人の松山英樹が2位タイに入り、日本人選手の活躍に声援を送りながらも寝不足の方が多くいらっしまったかと思えます。

2つのメジャーといわれるビッグ大会の開催時間を見てみると夜9時ごろまで行われていました。いわゆるサマータイムによって夜遅くまでプレイをしていたわけですね。

サマータイムを調べてみると、日本でも導入されていました。終戦後の昭和 23

年（1948年）から昭和26年（1951年）まで導入されていました。当時のGHQが導入したようですが、昭和27年（1952年）になって廃止されました。廃止の理由はいろいろあるようですが、やはり当時の日本においては、農業で生計を立てる人口が多く、時計で動くのではなく、太陽の動きによって人間の営みをしてきた人々にとっては、夏時刻になったとしても、なかなかその1時間のタイムゾーンになれなかったというのが廃止の最大の原因とされているようです。

ちなみに、サマータイムにかかわる日本の動きですが、昼間の時間の有効活用の促進とエネルギー消費節減、地球環境の保全に寄与することとされ、地域社会の安全と向上を目的に、平成16年（2004年）に衆参両院超党派100名の国会議員で「サマータイム制度推進議員連盟」が設立され、2008年にいよいよ具体的なサマータイム導入に向けての法制化の動きが始まりました。既にサマータイム法案として、骨子も出来上がっているそうです。さらに3,11の東日本大震災における電力不足に際にも導入の検討がされたようですが、まだまだ様々な問題があり、実現には時間がかかりそうです。個人的には南北3,300kmに及ぶ長い日本列島に全国統一のサマータイム導入が日本人の生活に合うかどうか疑問に思われます。

一年で昼が一番長く、夜が短いとされる夏至を迎えるにあたって、スポーツ観戦しながらサマータイムがふと頭をよぎりました。

佐藤 誠（NPO PLANT A TREE PLANT LOVE事務局）

■ともいき・ともうみ・ともさち、そして和。 雑感彼是

●日本の本質、日本のアイデンティティ。それは日本的なるもの、ジャパネスク。

「ともいき」「ともうみ」「ともさち」そして「和」は日本人のこころ、日本人の精神の真髄です。（目に見えないジャパネスク）この精神的基盤により、形のある日本独特のモノ・コト・ワザ・文化が出来上がってきました。（目に見えるジャパネスク）

この二つを総称してNPO PTPLではジャパネスクと呼び、啓蒙活動にはげんでいます。

詳細はジャパネスクサイトをご覧ください。

そして一人でも多くの方々に「ジャパネスク」を理解していただきたいと願っております。

●私はそう信じています。

自然に対する畏怖畏敬は、私たち日本人の DNA ともいえる心情です。

自然への畏敬と感謝、それが私たちの自然に対する見方や感じ方の根幹であるといえます。私たち日本人は自然との限りない調和を求めて、自然に随い、敬いながら暮らしを営んできました。私たちは自然界の一員として、自然の働きに応じて生きてきたのです。そして自然のうちなるものとして、全ての生命のつながりを重んじてきたのです。

私たちは、現在この国土に培われた、自然に対する畏怖や感謝の念を、現代都市に暮らしながら見失おうとしています。過密化する都市からは、自然が消滅しようとしています。美しく豊かな日本の森や川も開発され、荒廃してしまつたところが少なくありません。私たちは、人間の側から自然を見るのではなく、自然の大きな回帰循環する時間の中で生きるということを「生活の知恵」としてきました。

現代社会において、改めて、自然を畏れ敬い、安全で豊かな生活を支える環境をつくり上げるところに、真の意味における『人と自然の「ともいき」』を基本とする、国土の再生と文化の発展があるに違いありません。

私はそう信じています。

FB「ともいきぐらし」と FB「ジャパネスク」は切っても切れない相関関係にあります。是非、両方ともご覧になってください。

日本が段々と近づいてきます。

・FB「ともいきぐらし」：<https://www.facebook.com/tomoikigurashi>

・FB「ジャパネスク」：<https://www.facebook.com/japanesque.tokyo/>

ジャパネスク



勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■事務局だより

●本文でサマータイムをお取り上げていますが、サバータイムが終わる前日にヨーロッパにおり、翌日はどうなるのかと期待していたのですが、朝起きたら時計を 1 時間戻してください、という案内があっただけでした。長年導入している国ではサマータイムは生活の一部になっているようです。

●是非、NPO PTPL が企画制作運営するサイト・FB をご覧ください。

「NPO PTPL 公式ホームページ」：<http://www.plantatree.gr.jp/>

「ジャパネスク」：<http://www.japanesque.tokyo/>

「ともいき暦」：<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2016/>

「ともいき ぐらし」：<https://www.facebook.com/tomoikigurashi>

「おらが富士 計画 ふるさと山」：<https://www.facebook.com/oragafuji/>

「不思議・驚き・魅力のジャパネスク」

<https://www.facebook.com/japanesque.tokyo/>

●会員募集のご案内

NPO 活動を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPL では、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAX にてお尋ねください。

●NPO PTPL は「ジャパネスク運動」推進中です。

ぜひ、「ジャパネスク」サイトのメニューのひとつの「ジャパネスク語り」
(<http://www.japanesque.tokyo/katari.html>) をお読みください。

NPO PLANT A TREE PALNT LOVE 事務局

〒141-0022 東京都品川区東五反田 2-7-11 東都ビル 201 号

電話：03-6432-5911 FAX：03-6432-5912

Email：info@ptpl.or.jp